

令和6年度
第4学年 人権教育にかかわる年間指導計画

人権教育にかかわる年間指導計画作成のための方針

- 教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認めることを重視した指導をする。
- 児童の望ましい人間関係の育成のために、道徳授業を中心に、道徳教育を学校の教育活動全体を通じて行い、各教科においては、児童がかかわり合う学習活動を行うようにし、ともに学び合うことの大切さを実感することができる指導を展開する。
- 教科等の学習や学校行事、日常の社会生活の中から人権課題について学ぶことができるようにする。
- 特別活動や総合的な学習の時間を中心に関連的な指導を図り、人権課題について学んでいく。

	4月	5月	6月	7月	8月(夏季休業)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	<p>学級目標に人権教育</p> <p>自分の大切さを認めることを中心とした指導</p> <p>他の人の大切さを認めることを中心とした指導</p> <p>互いの大切さを認めることを中心とした指導</p> <p>児童相互の関係を把握する。</p> <p>教師が児童のがんばったこと、よい行いに対して声かけをするともに、教室に掲示する。</p> <p>児童相互で友達のがんばったこと、よい行いを紹介し合い、教室に掲示する。</p>											
各教科	<p>理科 予想を立てて実験や観察をしたり、結果からさらに考えを深めるなど科学的な見方や考え方を育てる。</p> <p>算数 見通しをもったり、筋道を立てて考えたりする数学的な考え方を育てる。</p> <p>国語「暮らしを便利にするために」 それぞれの人の立場から便利・不便ということを考える。</p> <p>保健「体の成長とわたし」 体の中の変化や、男女の体のちがいを知り、自分らしさを大切にすることを学ぶ。</p> <p>理科「季節と生物」 季節ごとの生き物を観察するとともに、ツルレイシなどを育てる。</p> <p>国語「言葉が表す感じ、言葉から受け取る感じ」 言葉での表わし方を知り、言葉の大切</p> <p>国語「一つの花」 命の大切さを学ぶ</p> <p>社会「住みよい暮らしをつくる」 暮らしを支えている方がいて、私たちの生活が成り立っていることを学ぶ。</p> <p>国語「つくろう学級新聞」「クラスの『不思議ずかん』を作ろう」「読書発表会をしよう」</p>											
読書科	<p>国語「一つの花」 命の大切さを学ぶ</p>											
特別の教科	<p>道徳</p> <p>思いやり・親切 友達と仲良く、助け合う。</p> <p>礼儀 いつもきちんと挨拶をする。</p> <p>生命尊重 命あることのねうちと、精一杯生きていくことの大切さを学ぶ。</p> <p>個性伸長 人には一人一人違う個性があり、それを認め合っていく心情を育てる。</p> <p>勤労・奉仕 働くことの大切さを知り、進んで働く。</p> <p>思いやり 相手のことを考えて親切にする。</p> <p>規則の尊重・公德心 人と仲良くするためのきまりについて考えとともに、子供は守られてよいことを知る。</p>											
特別活動	<p>学級活動「4年生になって」自分や学級の目標を考え計画を立てる。</p> <p>運動会</p> <p>1年生を迎える会</p> <p>読書指導 いろいろな種類の本を読み、読んだ本を紹介し合う。(通年)</p> <p>学芸会 書き初め</p>											
総合的な学習の時間	<p>環境問題 身近にある「実のなる木公園」について詳しく調べることを通して、様々な人と関わり合って生活していることを学ぶ。</p> <p>みんなで生きている 福祉の体験をし、様々な人が一緒に生きていること、身の周りのバリアフリーについて学び、誰もが支え合うことが大切であることを学ぶ。</p>											
その他	<p>《保護者会等》家庭からの連絡等から児童</p> <p>《保護者会等》道徳授業地区公開講座に</p>											

